

物部川地域アクションプランの進捗状況等について

(第3四半期)

物部川地域アクションプランの進捗状況等

H27.2.13

物部川地域本部

1 地域アクションプランの平成26年度（第3四半期）の進捗状況等（総括）

(1) 総評

全25項目について、実行支援チームを編成し、支援及び進捗管理を行っている。

必要な情報の共有や事業進捗に向けた協議など、支援チーム員と関係者が連携して取り組んでおり、全項目において概ね計画どおり進捗している。

園芸主幹品目のうち、シシトウ、エメラルドメロン、ニラにおいては、収量増や品質向上に向けて、炭酸ガス施用効果の検証を行うなど環境制御技術の取り組みが順調に進んでいる。

青果出荷日本一のユズにおいては、担い手の高齢化が深刻であるが、JA土佐香美青壮年部の活動に4人の生産者が新たに加わり、若手の参加拡大を進めている。

また、防除作業の効率化を図るために必要なスピードスプレーヤーが、補助事業を活用して年度内に導入されることとなった。

地産地消・食育の推進においては、4月に移転開業したJA長岡の直販所「なの市」及び飲食店「なのカフェ」が、地元の豊富な農畜産物とそれらを活かしたメニューを提供しており、売上額及び来客数とも順調に推移している。農家レストラン「まほろば畑」は、平成22年秋の開業からの累計入店者数3万人を達成した。

6次産業化の推進においては、平成25年度に加工施設の整備を行った夜須の協同組合やすらぎ市が、トレフルッタ（エメラルドメロン・ルナピエナスイカ・トマト）を使ったメロンパン、トマトカレーパン、ジュレなど主力商品の販売を行っており、順調に売り上げを伸ばしている。

企業組合ごめんシャモ研究会は、10月に企画営業担当職員1名を再配置し、鍋シーズン中の売上獲得を目指した販促活動を展開している。

観光の取り組みにおいては、南国市観光協会が、県内各地に伝わる長宗我部元親ゆかりの地を訪れてもらうラリーゲームを開催している。

香南市では、「長谷寺の坐禅ツアー」に女性を中心にのべ100人近い参加があり、静かな人気となっている。10月に開催した「塩の道トレイルランニングレース」は3回目の開催となりリピーターにも根強い人気で、167名が健脚を競った。また、新しい体験観光メニューの試みとして、夜須で「サンライズ・サンセット・シーカヤックモニターツアー」を実施し、本格実施に向けた検討を始めている。

香美市では、恒例の「刃物まつり」や、4回目となる「龍河洞キャンドルナイト」を開催したほか、新たにJR土佐山田駅前周辺の飲食店26店舗が参加したイベント「香美バル」を開催した。

9月に追加した新規の地域アクションプランである「土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化」の取り組みでは、商店街や市民の声を幅広く聞くための地域状況調査を行い、12月末にその結果が報告された。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>園芸主幹品目の再構築及び強化</p> <p>■No.1 南国市の園芸主幹品目シシトウの再構築 (南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 南国市 ・ J A 長岡 ・ J A 十市 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>シシトウ販売額：10.8 億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>シシトウ販売額：10.6 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>シシトウ販売額：10.4 億円 → 実績 9.7 億円</p> <p>※販売額は J A への入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木質資源利用促進事業により 2 戸が木質ペレットボイラーを導入した。 ・ 炭酸ガス施用の実証ほを設置した。 ・ 新規栽培者について、27 園芸年度の目標設定を行い、個別巡回等 (4 戸延 62 回) により栽培技術及び経営改善の指導を実施した。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>省エネ技術導入に向けた取り組み</p> <p>⇒木質バイオマスボイラー、ヒートポンプについて、補助事業等を活用した導入を推進していく。</p> <p>増収に向けた取り組み</p> <p>⇒炭酸ガス施用の実証試験を実施し、増収効果を検討する。</p> <p>担い手育成</p> <p>⇒目標の達成に向け栽培管理等の指導を行っていく。</p>
<p>■No.3 エメラルドメロンの販売力向上対策 (香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐香美 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>エメラルドメロン販売額：4.8 億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>エメラルドメロン販売額：4.8 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>エメラルドメロン販売額：4.8 億円 → 実績 4.5 億円</p> <p>※販売額は J A への入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋、大阪、東京から市場や仲卸、販売店が来高して現地栽培状況の確認や商談を行った。 ・ 徳島、兵庫、愛知、東京及び県内で試食宣伝を行った。 ・ 炭酸ガス発生装置導入農家から炭酸ガス施用実態の聞き取

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 4 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」(香南市・香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A土佐香美 	<p>り調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培管理方法(温度・灌水・換気管理など)について現地検討会を開催した(4/7、6/11、7/4、10/9、11/5、12/3)。 ・抑制栽培での天敵利用について、試験導入後の実証結果やアンケート調査結果の報告及び天敵活用のための勉強会を開催(6/27)するとともに、防除マニュアルを作成し全戸配布を行った(8～10月)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収量品質の向上 ⇒炭酸ガス施用について施用効果の検証と改善策の検討を行う。 ・難病害虫防除対策 ⇒抑制、促成栽培について、天敵導入による防除効果の再検証を行い、抑制栽培の防除マニュアルをもとに他の作型のマニュアルを作成する。 <p>[目標 (H27)]</p> <p>ニラ販売額：30.0 億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ニラ販売額：29.0 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ニラ販売額：29.0 億円 → 実績 23.6 億円</p> <p>※販売額は J.A への入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウスの品種比較や露地の品種に合わせた栽植方法、遮光資材効果の実証ほを設置した(7カ所)。 ・ハウス栽培における緩効性肥料の実証ほを設置した(1カ所)。 ・露地で軟腐病対策実証ほを設置し、定期的に薬剤散布を行い、防除効果を調査した。 ・電照栽培と炭酸ガス施用効果の検証を行っている。 ・異物混入対策の目慣らし会を開催し、安全・安心チェックシートによる点検を行った。 ・作型改善案をもとに面談し、今後の栽培計画を検討した。 ・野市地区の新規就農者の支援チーム員として支援することを3戸の農家から了解を得た。 ・生産者や J.A から提供を受けた経営状況や販売に関するデータの分析を行い講習会で報告した。 ・調整作業の機械化についてメーカーの視察調査や実演会の

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>開催、処理能力の調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年 12 月の突風被害に遭ったハウスで、25 年度災害レンタル繰越着工により、3 戸 32a のハウスが 6 月末までに完成した。 ・ニラのプロモーションについて、地産地消・外商課、産地・流通支援課と打ち合わせを行い、個包装に「高知家」のロゴを入れて出荷した。 ・規模の拡大や縮小等についての生産意向調査を新規栽培農家を除く全戸(224 戸)対象に実施した(回答 223 戸)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷量の増加及び周年安定生産 ⇒産地の維持を図るため、病害虫対策及び有望品種の実証、月ごとの栽培指針の作成配布等を行うとともに調整作業の機械化を検討していく。 ・新規就農者等の育成・確保 ⇒部会でのバックアップ体制の検討を行い、必要な対策を講じていく。 ・部会員の経営改善の仕組み作り ⇒規模別の課題を抽出し、経営改善の指導に取り組む。 ・新たな産地ビジョンの検討 ⇒部会の新たな産地目標や生産意向調査をもとに案を作成する。
<p>ユズの総合的な産地強化</p> <p>■No.5 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市 ・JA土佐香美 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>ユズ販売額：5 億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ユズ販売額：4.5 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ユズ販売額：4.5 億円 → 実績 4.3 億円</p> <p>※販売額はJAへの入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ産地協議会、委員会、座談会、若手生産者との意見交換会を開催し、出荷量維持のための方策を検討した。 ・座談会で「ユズ産地構造改革計画」を周知した。 ・ユズ生産部会三役が、「ユズ産地構造改革計画」を基に産地の将来像を検討し、委員会で提案を行った。 ・担い手として10名をリストアップし、意向を調査した。 ・地区委員が中心となり、「ゆずもり」として防除作業を受

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>託した(5/16)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者などを対象とした勉強会を開催(7/18)し、殺菌剤の使用方法などについて認識を深めた。 ・先進地視察を行い、大規模園地でのスピードスプレーヤーを利用した防除作業等の取り組みを研修した(7/14)。 ・JA土佐香美青壮年部が、若手生産者の積極的な部会活動などへの参加を促す取り組みを行った結果、新たに4名の若手生産者が加入した。 ・黄玉出荷検討会で腐敗果の発生防止、休眠期から萌芽直前の防除体系について指導した(10/22)。 ・「こうち農業確立総合支援事業」を活用し、平成26年度にスピードスプレーヤー1台を導入することを決定した(11/14)。 ・ものべゆず女性倶楽部が大宮小学校での食育授業や、雑誌「レタスクラブ」からの取材などにより消費宣伝を行った。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大、作業受委託に向けた取り組み ⇒園地の基盤整備のためにせま地直しを実施し、防除作業の省力化のためにスピードスプレーヤー等の機械化の推進を図る。 ・担い手の育成 ⇒生産安定のための技術指導や定期的な学習会の開催を行うとともに、担い手が部会活動などに積極的に参加できるように支援する。 ・選果作業の効率化 ⇒高齢化に対応した選果方法について検討する。
<p>地産地消・食育の推進</p> <p>■No.6直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA長岡 	<p>[目標(H27)]</p> <p>直販所等の売上額：100,000千円 直販所等の雇用者数：8人 ながおか温泉入場者数：19万人</p> <p>[H26到達点]</p> <p>直販所等の売上額：100,000千円 直販所等の雇用者数：12人 ながおか温泉入場者数：16万人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>直販所等の売上額：33,000千円 → 実績 31,300千円 直販所等の雇用者数：3人 → 実績 14人 ながおか温泉入場者数：16万人 → 実績 15.3万人</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.7 地域農産物を活用した直販所「ひかり市」の施設拡充（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA十市</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所「なの市」と飲食店「なのカフェ」がオープンした(4/2)。 ・運営会議を随時開催し、業務改善に努めている。 ・ながおか温泉、なの工房、西島園芸団地、南国市観光協会が連携し「あけぼの街道周辺魅力向上事業」として「ひまわりフェスタ」を開催した(11/22～12/7)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な供給体制の構築 ⇒安定的な品揃えと品質維持のため生産者とスタッフの連携強化に努める。 ・経営安定化に向けた取り組み。 ⇒役員会等において、売上げ向上と人件費を含む費用の適正化の検討を行っていく。 <p>[目標 (H27)]</p> <p>直販所の営業日数：週6日 直販所への出店者数：100人 直販所売上額：50,000千円 直販所スタッフ雇用（新規）：3名</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>直販所の営業日数：週6日 直販所への出店者数：100人 直販所売上額：34,500千円 直販所スタッフ雇用（新規）：9名</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>直販所の営業日数：週6日 → 実績 週6日 直販所への出店者数：90人 → 実績 93人 直販所売上額：34,500千円 → 実績 22,900千円 直販所スタッフ雇用（新規）：5名 → 実績 9名</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者会議を実施した(4/23)。 ・定休日であった水曜日の営業を開始し、年始を除き基本的に週7日の営業とした(6/4～)。 ・新商品（米粉と小麦のブレンドパン(7/1～)、らっきょう漬(7/17～)、生姜シロップ(7/20～))の販売を開始した。 ・生姜シロップ、らっきょう漬等の販売促進に向け、南国市中小企業振興事業費補助金を導入し、新たなラベルデザインづくりに取り組んでいる。

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 地産地消・食育の推進(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・ J A南国市、J A長岡、J A十市 ・ 南国市地産地消推進協議会 ・ 農家レストランまほろば畑 ・ 南国市 ・ (株) ナイフアンドフォークカンパニー 	<p>・ ごとおち市の経過報告会を開催し、関係者で経営状況や課題への対応方針について協議した(10/23)。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定的な供給体制の整備 ⇒ 出荷会員を確保し、直販部門の充実を図る。 ・ 加工品の開発及び販売 ⇒ 品揃えの充実と売上げ増加のため加工品の開発及び販売を行う。 <p>[目標(H27)]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合金額ベース：15% 業務筋への供給：15 事業体</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合金額ベース：16% 業務筋への供給：18 事業体</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合金額ベース：13 % → 実績 16.3%</p> <p>業務筋への供給：18 事業体 → 実績 17 事業体</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まほろば畑の各グループにヒアリングを実施し、現状における課題の聞き取りを行った(5/15～5/27)。 ・ まほろば畑の総会を開催した(7/8)。 ・ 学校給食の配送業務について三者協議((株)南国スタイル、南国市農林水産課、南国市教育委員会学校教育課)を行った(7/28、10/6)。 ・ まほろば畑の食事時間を50分から60分に変更しサービスの向上を図った(7/29～9/2 試行、9/9～本格実施)。 ・ まほろば畑の累計入店者数が3万人を達成した(10/21)。 ・ 第8回産業振興推進総合支援事業費補助金審査会において「地域の食材をフル活用した農園レストラン&ベーカリー」事業が採択された(1/7)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配送効率の向上 ⇒ 配送体制や配送ルート、受注方法の検討等を行い、配送効率の向上に努める。 ・ まほろば畑の運営方法の検討 ⇒ 農家レストランまほろば畑の運営継続に向けて、後継者の育成や労務軽減を図るため、課題の洗い出し及び改善

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 シイラ等の加工商材活用 (香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・高知県漁協手結支所</p>	<p>の累計 3 品)</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ごめんケンカシヤモ提供店舗数：18 店舗 → 実績 20 店舗 シヤモ目標飼育羽数：1,500 羽 → 実績 1,700 羽 ごめんケンカシヤモを使った加工品数：1 品 → 実績 1 品</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度産業振興推進総合支援事業費補助金を活用して高知農業高校に整備した貯卵及び孵卵施設の運用を開始した(貯卵:4/8～、孵化：5/21)。 ・土佐の食 1 グランプリ (4/5～6)にシヤモラーメンで出展し、2 位を獲得するなど各種イベントに参加した。 ・食の旅行商品化を目指した取組に参加し、関係者との協議を開始した(7/11～)。 ・台風 11 号により、直営鶏舎と委託鶏舎のビニールハウス式鶏舎の屋根の約半分が損壊し、施設と初生ヒナに被害を生じたため、施設の復旧に取り組むとともに、生産計画を見直した。 ・「高知×鳥取まんが王国会議 2014in Akiba」に出展した(10/12～13)。 ・企画営業担当 1 名を配置し、販売促進体制の強化を図った(10/15)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓、販売促進及び管理部門の強化 ⇒フェアやイベント、商談会等の機会を活用して知名度の向上を図るとともに、販路開拓及び販売促進に取り組む。また、会計処理を専門家に委託することで日々の経理や資金管理をはじめとする管理部門の強化を図る。 ・生産計画の見直し及び生産体制の再構築 ⇒関係機関と連携し、台風被害による復旧を含め、生産計画の見直しを行い、生産体制の再構築を図る。 <p>[目標 (H27)]</p> <p>シイラ加工事業の販売金額：700 万円 衛生管理の認証：県版 HACCP の取得</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>シイラ加工事業の販売金額：700 万円 衛生管理の認証：高度衛生管理認証の取得</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>シイラ加工事業の販売金額：700 万円 → 実績 1,300 万円</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 地域の特産品づくり～農産物加工への取組～(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんこく空の駅推進協議会、西島園芸団地など既存企業、組織、グループ ・新しい組織、グループ ・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・南国市商工会 ・南国市観光協会 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存取引先と定期的な情報交換を行っている(1～2回/週)。 ・昨年度実績や今年度の計画や課題について、関係者と協議を行った(5/14)。 ・加工場担当者と現状等について協議及び意見交換を行った(8/1)。 ・福岡県及び山口県の卸売市場、漁協、道の駅を視察した(11/26～28)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>衛生管理の維持向上</p> <p>⇒加工体制の見直し及び自主マニュアルの徹底を図る。</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数(新規): 10 組織・団体</p> <p>開発商品売上額: 1,000 万円(40 品目)</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数(新規): 8 組織・団体</p> <p>開発商品売上額: 3,000 万円(24 品目)</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数(新規): 8 組織・団体 → 実績 5 組織・団体</p> <p>開発商品売上額: 1,900 万円(24 品目)</p> <p>→ 実績 2,900 万円(21 品目)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特産品等研究開発事業(南国市)の募集を開始した(5/1～)。 ・びわ葉茶ティーパックの商品化に向けて、試飲アンケートを行った(6/16～19)。 ・地域特産品等研究開発事業審査会を開催し、ヤギミルクの販路拡大やしょうが加工品、柿ドレッシングのパッケージデザイン改良等の事業計画が採択された(7/22、10/10)。 ・集落活動センター「チーム稲生」でのびわ葉茶ティーパックの販売開始に向けて、作業工程のマニュアル化等関係者で協議を開始した(8/1～)。 ・チーム稲生が「ももアイス」の販売をOEMにより開始した(9/15)。

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 香美市ブランドの確立・特産品づくり (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市観光協会 ・食品加工グループ 	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>特産品づくりのプレーヤーの発掘・育成 ⇒地域特産品等研究開発事業(南国市)及び実践型地域雇用創造事業(厚生労働省)等を活用してプレーヤーの発掘及び育成に取り組む。</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>開発商品売上額: 6,300千円(20品目)</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>開発商品売上額: 7,000千円(16品目)</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>開発商品売上額: 5,700千円(16品目) → 実績 6,500千円(13品目)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)香美市観光協会が、べふ峡温泉スプリングフェスティバルを開催し、鹿肉メニューや特産品の販売を行った(4/29)。また、香美市内外で開催されるイベントに参加し、シカ商品やユズ加工品などを販売し、特産品のPRを行った(28回)。 ・農業創造セミナーにコハマ農産物直販所と物部町婦人会(ポンド・エ・トッティ)が参加した(7/17～)。 ・「えびす昭和横丁」のイベントで地場産品の出店を行った(9/20,21)。 ・食品等加工グループ3団体が高知市の「はりま家」と取引を開始した(12/20～)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>商品の販売促進及び販路開拓 ⇒イベント等に参加し、特産品の販売及びPRを行っている。</p>
<p>地域に育つ県産材の有効活用</p> <p>■No. 11 民有林における素材の増産(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各森林組合 ・林業事業体等 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>「森の工場」整備済面積: 19,000ha 素材生産量(民有林のみ): 47,500 m³</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>「森の工場」整備済面積: 18,500ha 素材生産量(民有林のみ): 37,600 m³</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>「森の工場」整備済面積: 18,127ha → 実績 18,143 ha</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 木質バイオマスの活用に向けての取組 (物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市 ・香南市 ・香美市 ・JA南国市 ・JA長岡 ・JA十市 ・JA土佐香美 	<p>素材生産量 (民有林のみ) : 30,600 m³ → 実績 42,000 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度の素材増産のための森林整備事業について森林組合及び林業事業体への説明会を行った(4回)。 ・森林経営計画策定に向け、香南市及び香美市の3地区において、地元説明会を行った(4/26、7/12、7/29)。 ・林業事業体の森の工場1団地が新規に認定された(5/19)。 ・南国市及び香南市の広報誌並びに林業事務所のホームページを使用し間伐推進のPRを実施した(8/1、9/1)。 ・香美森林組合及び物部森林組合が森の工場の拡大(95ha)を行った(9/30、12/1)。 ・素材生産のための森林作業道を3路線2,500m開設した。 ・11月までの素材生産量は25,187 m³となった。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>森林経営計画の策定</p> <p>⇒労働力の確保や機械装備などの課題に留意して、森林経営計画を策定していく。</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>ペレット利用量 : 1,230 t</p> <p>排出量取引 : 1,500 t-co₂</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ペレット利用量 : 630 t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ペレット利用量 : 517 t → 実績 575 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマスボイラー導入に向けて、森林・林業再生基盤づくり交付金を活用した木質資源利用促進事業への対応についての打合せを行った(4/17)。 ・4JA共同灰処理に向けた打合せ(4/24)、交付決定(7/18)、書類検査(9/19)、支払(10/2)を行った。 ・木質バイオマスボイラー導入審査会を開催した(5/23、8/20)。 ・木質バイオマスエネルギー利用促進協議会(6/4)、木質バイオマスエネルギーの地域利用促進のための勉強会(10/15)を開催した。 ・木質バイオマス燃焼灰の自ら利用の手引きを公表した(7/31)。 ・ボイラー導入の木質資源利用促進事業の交付決定を行った

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(JA 長岡分、8/6)。 ・ボイラー導入の木質資源利用促進事業の要望調査を行った(10/17)。 [課題と今後の対応] バイオマスボイラー導入の進捗状況の確認、稼働に向けての協議及び県内の燃料供給基地について情報収集 ⇒関係機関と連携し、ボイラーの整備、促進を図る。</p>
<p>歴史と伝統ある地場産業の振興 ■No. 19 地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興 (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県土佐刃物連合協同組合 ・香美市商工会 ・フラフ製造業者 ・香美市観光協会 	<p>[目標 (H27)] 刃物製造業者数：現状維持 [H26 到達点] 刃物製造業者数：現状維持 [H25 到達点] 刃物製造業者数：現状維持 → 実績 1者減少(35事業者)</p> <p>[取組状況] ・大型外国客船の高知新港への寄港に合わせて、物販ブースにてくじらナイフの展示販売を行った(4/20)。 ・積丹ソーラン味覚まつりで土佐打刃物の展示販売を行った(6/29)。 ・「えびす昭和横丁」で土佐打刃物とフラフのPRを行なった(9/20,21)。 ・「伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業」の事業者向け説明会を開催した(9/26)。 ・「刃物まつり」を開催した(10/18,19)。 ・香美市内の小学生を対象とした染物体験教室を開催した(10/4,11/26)。</p> <p>[課題と今後の対応] 土佐打刃物後継者育成 ⇒関係者で「伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業」を活用して後継者育成を図っていく。</p>
<p>体験型観光商品の充実及び広域観光の取組の推進 ■No. 20 観光事業から観光産業へ～観光産業の振興～(南国市)</p> <p>《事業主体》</p>	<p>[目標 (H27)] 観光協会の会員数：150 一般社団法人数(観光協会の法人化)：1組織 主要4観光施設※の入り込み数：500,000人</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・南国市観光協会 ・市内各観光に関わる企業・団体・グループ</p> <p>■No. 21 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・香南市観光協会 ・地域の体験メニュー等提供団体</p>	<p>[H26 到達点]</p> <p>観光協会の会員数：85 一般社団法人数(観光協会の法人化)：1組織 主要4観光施設※の入り込み数：524,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>観光協会の会員数：85人 → 実績75人 一般社団法人数(観光協会の法人化)：1組織 → 実績1組織 主要4観光施設※の入り込み数：517,000人 → 実績524,000人</p> <p>※県立歴史民俗資料館、西島園芸団地、パシフィックゴルフ(以上、来場者)、道の駅南国風良里(ショップ、直販所のレジ通過人数)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリを開催した(4/5,6)。 ・第2回ごめんな祭を開催した(5/11)。 ・長宗我部フェスを開催した(5/17)。 ・第2回スイーツグランプリ実施した(2/22～6/5投票、7/4結果発表)。 ・西島園芸団地にドライミスト設備を設置し、「いちごカフェ」をオープンした(7/20)。 ・長宗我部元親ラリーを開催した(10/11～1/12)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光の推進 ⇒コンテンツの創出、磨き上げ、育成、ネットワーク化に取り組んでいく。 ・観光協会会員の拡大 ⇒観光協会が主催するイベント等を通じて、会員の拡大を図る。 <p>[目標 (H27)]</p> <p>年間プロモーション活動：年6回以上(年のべ50社以上) 主催旅行の開催：10コース・募集200人以上</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>年間プロモーション活動：年6回以上(年のべ50社以上) 主催旅行の開催：10コース・募集200人以上</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>年間プロモーション活動：年6回以上(年のべ50社以上)</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22「森の駅」を中心とした体験型観光の推進(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市 ・香美市観光協会 ・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体 	<p>→ 実績 年2回(年のべ31社)</p> <p>主催旅行の開催:10コース・募集200人以上</p> <p>→ 実績 10コース・募集530人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごめん・なはり線酒蔵見学ツアーの下見及び打合せを行った(5/5)。 ・長谷寺座禅ツアーを開催。9月までに4回開催予定であったが、好評のため2回追加開催した(6/29、7/26、9/21 実施64名参加。8/19 荒天のため中止。10/28、11/9 追加実施 35名参加。計99名参加)。 ・「歌舞伎でまちおこし実行委員会」を開催した(6/3、9/8)。 ・第3回土佐塩の道トレイルランニングレースを開催し(10/5)、167名の参加があった。 ・サンライズ・サンセットシーカヤックのモニターツアーを各3回開催し、63名の参加があった。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>旅行企画の多様化と催行</p> <p>⇒地域素材を活用して多様化を図るとともに、告知方法の改善を図る。</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>体験プログラム数:20プログラム</p> <p>体験プログラム受け入れ人数:500人</p> <p>[H26到達点]</p> <p>体験プログラム数:18プログラム</p> <p>体験プログラム受け入れ人数:2,800人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>体験プログラム数:16プログラム → 実績17プログラム</p> <p>体験プログラム受け入れ人数:400人 → 実績2,700人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歌で巡る史跡うおーく」を開催した(4/20)。 ・べふ峡温泉スプリング・フェスティバルを開催し、いざなぎ流舞神楽の鑑賞、御幣切り体験、竹食器作り体験を行った(4/29)。 ・川上様夏祭りを開催した(7/27)。 ・奥物部湖水祭りを開催した(8/14)。 ・しかからまざ〜るビアホールイベントを開催した(8/22)。 ・龍河洞祭りとそれに合わせた子ども向けイベントを企画し

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 広域観光の取組の推進(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知中央広域観光協議会のうち、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会 	<p>実施した(8/23)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県観光アドバイザーを招へいし、体験型観光の研修及び講演会を実施した(8/29)。 県広域観光アドバイザーによる視察を行った(10/6～7、対象：ほっと平山、べふ峡温泉)。 香美市土佐山田町の商店街でイベント「香美バル」を開催した(10/31～11/1)。 龍河洞クリスマスキャンドルナイトを開催した(12/23)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>体験メニューの充実</p> <p>⇒地域と香美市観光協会が連携し、新たな体験プログラムの造成や参加者の受け入れ体制の整備を図る。</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>観光客入り込み数：80 万人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>観光客入り込み数：65 万人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>観光客入り込み数：65 万人 → 実績 63.2 万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知中央広域観光協議会総会を開催し、平成 26 年度事業計画及び予算を決定した(5/15)。 実務担当者会を開催した(4/15、6/4、7/9、8/26、9/30、11/6、12/18)。 プロモーションツールとして H25 年度に作成したパンフレット(高知中央じゃらん)を H26 年度版に改訂を行った。さらに、中国・四国、関西地区の道の駅や高速道路サービスエリア、量販店等での配布を 8 月から開始するとともに、圏域のポスターを作成した(11/10 納品)。 「高知まんなか観光物産展」を開催した(12/6～7)。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>広域観光の戦略検討</p> <p>⇒4 市の取組を明確化し、広域観光協議会の戦略を検討していく。</p>

②上記以外で特記すべき取組

該当なし

2 平成 26 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況 (交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No.9 地産地消・食育の推進 (南国市) * H27.1.7 採択</p>	<p>南国市内の生産者との連携の下、「南国土佐のイタリアン」をコンセプトにした地産地消のレストランとベーカーリーを整備する。</p>	<p>250,020 (50,000)</p>

3 県民参画に向けた取組

○第 2 期産業振興計画 ver.3 及び産業振興計画シンポジウムの P R

- ・香南市西川地区集落活動センター推進協議会役員会 (4/8) 及び総会 (4/14)
- ・香美・香南地区農業振興連絡協議会総会 (4/23)
- ・三水会※ (5/21)

※香美市の官公署、公共的団体、企業等の代表者等で構成される、親睦及び産業文化の向上発展への寄与を目的とする団体

○土佐 M B A の説明及び P R

- ・南国・香美・香南各市商工会及び観光協会、J A 土佐香美、J A 南国市・J A 長岡・J A 十市、香美・物部各森林組合への訪問や会合の機会を使った P R
- ・なんこく空の駅推進協議会、ごめんシャモ研究会等各種団体への訪問 など

4 相談案件：6 件

NO	相談日	事業種別	相談内容
1	4/17	農業	山北みかんのブランド再構築に向けた高精度選果機を導入したい。
2	5/23	商工	地域食材を使ったレストランを出店したい。
3	6/9	食品加工	乾燥ケールの製造・販売を強化するため、委託農家の確保と乾燥施設・設備を整備したい。
4	7/10	農業	香美市物部町でユズの園地の防除作業の省力化等のために、スピードスプレヤーの導入を図りたい。
5	8/25	商工	ヤ・シイパークで、香南市の果物や野菜などを使った氷菓を商品開発し、販売していくための施設整備をしたい。
6	9/12	食品加工	香南市をはじめとする県産の果物を使ったゼリーを作るため、製造施設・整備をしたい。